

つるせ西だより



～今月の特集～
まちの防災活動

第128号(12月号) 2017. 12. 1

編集:鶴瀬西交流センターだより編集委員会

発行:富士見市立鶴瀬西交流センター

〒354-0021 富士見市大字鶴馬3575-1 TEL:049-251-2791 FAX:049-255-9707

鶴瀬西地域の風景 128

つるせ台小学校近くの「きずなテラス128」では、10月29日(日)に予定していた有志によるハロウィーンが、台風22号の接近で中止となり、台風一過の31日(火)午後4時よりミニハロウィーンが開かれた。

中央階段緑地には、魔女やキャラクターに衣装した子どもたちが集まった。皆で「ハッピーハロウィーン!」と声を掛け合い、記念撮影をした後、列を作ってお母さんたちから手箒やカボチャのバケツにたくさんのお菓子をいただいで近所を巡り歩いた。

この街では、行事を通して親睦を深め年々交流の輪が広がっているという。(撮影・文/川上喜久治編集委員)



楽しいHalloween



ちょこっとまめちしき!

『ハロウィーンに衣装をするのはなぜ?』

ハロウィーンは、2000年以上も前の古代ケルト人のお祭り「サウィーン」が起源といわれています。古代ケルト人の間では、10月31日(一年の最後の日で、秋の収穫を祝う)から11月1日をまたぐ夜は、他界との門が開き「あの世」と「この世」の境がなくなると信じられていました。そのとき先祖の霊が家族に会うために「あの世」から帰ってくるけれど、これに紛れ込んで魔女や悪霊なども農作物や人間を狙って現れる…と考えていました。そこで、自分たちも悪魔や妖怪に変装し、悪霊を怖がらせて追い払おうとしたのだそうです(※諸説あるそうです)。

『かぼちゃは英語で...?』

冬至にも活躍するかぼちゃ。オレンジ色のかぼちゃは英語でパンプキン(pumpkin)ですが、日本人がふだん食べている緑色のものはスクワッシュ(squash)と言うそうです。



つるせ台小学校西側の信号機が、押しボタン式から定周期式に変更されました。

10月27日(金)から工事が始まり、11月9日(木)から稼働開始となりました。

つるせ台小前の信号機

まちの話題

よれい祭り

10月15日(日)、つるせよさこい祭りが盛大に開催されました。

当日はあいにくの雨天でしたが、それにも負けない力強い演舞が披露され、観客を楽しませました。

